

いわた

文化財だより 第112号

磐田市教育委員会教育部文化財課 平成26年7月1日発行

目次

- 文化財課夏の企画展 合併10周年プレ企画 『み～つけた！近所の遺跡』・・・P1～2
- 平成の大修理 府八幡宮楼門・・・P3
- 福田町史展開催のお知らせ・・・P4
- コラム 『風景印』 佐口 節司・・・P4

≡≡ 文化財課 夏の企画展を開催します ≡≡

合併10周年プレ企画

み～つけた！ 近所の遺跡

磐田市全域には、330箇所(*)を超える遺跡が確認されています。
今回は、今までの発掘調査の中から、ご紹介する機会の少なかった遺跡から出土した遺物を、地区(中学校区)ごとに紹介します。
地区の逸品だけでなく、今回を逃すと次にはなかなか見られないものも展示しちゃいます。
わが地区の遺跡を見つけに、
図書館へGO!!

- ◆開催期間：平成26年7月26日(土)～8月31日(日)
月曜日休館 午前9時～午後6時
(土・日曜日は午後5時まで)
- ◆開場：磐田市立中央図書館 展示室

※土・日曜日は、文化財課職員による展示解説があります。

※古墳群を1箇所として数えた場合

**磐田市には
遺跡がいっぱい**

豊岡中学校区 (豊岡地区)

蔵平遺跡、新平山遺跡、西の谷遺跡、血松塚古墳、五反田古墳群、岩室廃寺、社山城跡 ほか

鳥型土器
(蔵平遺跡)



城山中学校区

(見付・西貝(一部)・今之浦(一部)地区)

見性寺貝塚遺跡、兜塚古墳、一の谷中世墳墓群、見付端城遺跡、塔の壇経塚、城之崎城 ほか

骨蔵器
(見付端城遺跡)



**向陽中学校区
(岩田・大藤・向笠地区)**

勾坂中遺跡、寺谷遺跡、新豊院山古墳群、甕塚古墳、権現山古墳、竹之内原古墳、事神 A・B 古墳群、寺谷坂上古墳群 ほか

副葬品
(新屋原古墳群)



**豊田中学校区
(富岡西・豊田東・池田地区)**

広野遺跡、高見丘遺跡群、加茂東原・遺跡 ほか

黒曜石 (高見丘遺跡群)



**豊田南中学校区
(井通・青城地区)**

一言南原・遺跡 ほか

古代～中世の瓦
(一言南原Ⅱ遺跡)



竜洋中学校区 (竜洋地区)

東大塚天竜川河床遺跡、高木大東遺跡

須恵器
(東大塚天竜川河床遺跡)



**神明中学校区
(西貝・御厨・南御厨・田原地区)**

西貝塚遺跡、野際遺跡、鎌田・鍬影遺跡、堂山古墳、明ヶ島古墳群、御厨古墳群、坊中遺跡 ほか

松林山古墳



福田中学校区 (福田地区)

元島遺跡、塩口遺跡

須恵器
(塩口遺跡)



南部中学校区 (天竜・於保・長野地区)

浜部遺跡、大宝院廃寺遺跡、観音山古墳

せん仏
(大宝院廃寺遺跡)



NHK 大河ドラマの時代考証をつとめる、あの小和田先生(戦国時代史研究の第1人者)が磐田に来る!!

企画展記念講演会

磐田の戦国時代

講師：静岡大学名誉教授 小和田 哲男 氏

◆日時：8月17日(日) 午後2時～

◆会場：ワークピア磐田 多目的ホール 磐田市見付2989-3

◆定員：申込先着 240名

◆申込み：7月25日(金)～ 文化財課へ電話 または文化財センター窓口で申し込んでください。

入場無料

文化財課 磐田市見付 3678-1 TEL 0538-32-9699



“平成の大修理” ～府八幡宮楼門～

修復工事 現場見学会より

県指定文化財の府八幡宮楼門は、寛永12年（1635）に建立されて以来、初の全解体修復工事を行っています。今までにも幾度かの修理を重ね、現在までこの姿を残してきましたが、近年の台風被害や部材の腐食により、痛みがはげしい状態でした。修復工事とは、当時の建築材を極限まで残し、損傷のひどい部分のみを削り、部材を貼り付けるというものです。今回は、6月1日の現場見学会のようすなどをご紹介します。

屋根の構造が見えた！



H26.3 撮影



屋根の柿（木材の薄板）が剥がされ、屋根の構造の形が見えてきました。屋根を支える柱は太い木で複雑に組みられています。

垂木



H26.6 撮影

丸桁

丸桁（垂木を支える桁）は、反りのある造りです。真ん中と反りの部分（隅部）では厚さが異なっていて、隅に向かって木を厚くすることで、両端が小さく見えないよう工夫がされています。



屋根は、二重の軒付け※で柿葺き。二重の軒は、木を何層にも重ねて造られたもので、正面から見るととても美しい景観になります。屋根全体の面積に占める割合は小さいけれど、屋根工事の約4割の時間がここに費やされるそうです。

←二重軒付けの屋根（断面）

※ 軒付けとは…風雨に傷みやすく目につきやすい軒先を、厚く葺き重ねること

屋根の中に隠れてしまう木材で、過重がかかるところは、削らないそのままの木が使われています。また、釘を打つことなく、載せて組み立てられています。削ることで木がはがれやすくなり、釘を打つことで木が弱くなるのを防いでいます。



削らないため、ゆがみのある木

彫り物みつけた・・・

2階の四方に各2箇所ずつ飾られていた牡丹の彫刻は、今では1箇所に形を残すのみです。当時の詳細が分からないものは、修復である以上新たな手は加えることができません。残念。

当時にカメラがあれば・・・



牡丹の彫刻



内部には八角の角がみえる

上階(2階)の内部

上階側柱は八角の形をしています、外部だけ削り、円柱に仕上げられています。

江戸時代の釘

今の釘と違って四角形をしています。この釘は、砂鉄から造られていて、伸ばした砂鉄を幾重にも折り重ねて造られたものです。現在の釘は、古くなると先が膨れてきて抜けなくなりますが、この釘は400年が経った今でも、表面のさびをとると一部に銀色の輝きが見えました。



(左)今の釘
(右)楼門建立当時の釘

福田町史展を開催します

福田町史編さん事業も、いよいよ佳境。資料調査も最終章、そこで、今までの資料調査の成果をご覧いただくために、福田町史展を開催しますので、ぜひご来場ください。



コアジサシ

「竜洋町の鳥たち」竜洋町教育委員会より

今回のテーマは『自然』

～ 福田に生きる 花・鳥・魚・虫 たち ～

福田の生き物の今について、楽しいお話の報告会。スライドもあるよ。

会期：平成26年8月9日（土）
～8月31日（日）

毎週月曜日と第2日曜日(10日)は休館

時間：午前9時～午後5時

会場：福田公民館(磐田市福田1987-1)

問合せ：歴史文書館

TEL 0538-66-9112

福田町史調査報告会

日時：平成26年8月9日（土）
午前10時～正午

入場無料

会場：福田公民館 定員：80名

講師：福田町史専門委員・町史協力員

申込：7月10日～ 歴史文書館へ

TEL：0538-66-9112

コラム

風景印

佐口 節司

東京に住む先輩Hさんから「風景印」の話聞いた。「風景印はその土地の特色を図柄にしている」との言葉に刺激を受け、休暇を利用し市内の郵便局回りをした。家族や友人に協力を頼み、市内の18郵便局の風景印を集めることができた。

確かに先輩Hさんの言う通り、その地域を特色づける風景や名所・旧跡・文化財が図柄に使われていた。豊岡・豊田地区では天竜川が、福田・竜洋地区では遠州灘が、旧磐田市域の多くの郵便局ではトンボが図案化されている。文化財も多く、三角縁神獣鏡、靱埴輪、遠江国分寺、旧見付学校などが使われている。

その後、集めた風景印を先輩Hさんに献上した。収集に協力してくれた家族・友人からは怒られたが、Hさんからはほめられた。「また集めればいい」と思う今日この頃である。

風景印は消印の一つです。押しもらうには、郵便局の窓口で、「記念押印」という方法で切手や葉書に押しってもらう必要があります。



市内郵便局の風景印

池田《熊野の長ふじと天龍川橋》 磐田岡田《磐田市民プール、ツツジ(市花)、とんぼ》 磐田中泉《遠江国分寺(七重の塔)、サッカーボール、とんぼ》 磐田二之宮《閻魔大王坐像、とんぼ、ツツジ(市花)》 磐田富士見《とんぼ、サッカーボール》 磐田見付郵便局《旧見付学校・しっぺい太郎像・とんぼ》 磐田《旧見付学校、とんぼ》 富岡《遠州豊田PA、かささぎ大橋、白葱》 袖浦《竜洋海洋公園、駒場灯台》 豊田町駅前《香りの博物館・長ふじ・天竜川橋》 長野《濡地蔵、磐南温水プール》 豊岡《獅子ヶ鼻公園、浜北大橋、ころ柿》 野部《天竜川鮎釣り、梅》 福田《メロン、ハマボウ、漁船、富士山》 福田豊浜《福田漁港、豊浜橋、メロン》 向笠《ヨツボシトンボ、桶ヶ谷沼、三角縁神獣鏡》 竜洋《掛塚祭屋台・駒場灯台》 御厨《靱埴輪・医王寺庭園》

普段何気なく通っている所の下に遺跡があったら…想像するとワクワクしませんか？今回のテーマは身近な遺跡。企画展をのぞいてみませんか。

発行：磐田市教育委員会文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699・FAX：0538-32-9764
Mail：bunkazai@city.iwata.lg.jp

